

教科名	数 学	週時間数	3	学 年	2
使用教科書 及び 副教材等	・「数学2」(啓林館) ・「数学の問題ノート」(新学社)				

指導の重点	「思考力」 「知識技能」 「表現力」				
教科のねらい	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して数学的な資質・能力を育成することを目指します。(事象の数学化、数学的解釈、数学的な表現・処理)(論理的に考察する力、考察する力、簡潔・明瞭、的確に表現する力を養う)				
授業の進め方	授業は、教科書の内容を中心に進めます。 また、機械的な計算方法を反復練習によって習熟させ、例題を通して問題の解決策を見いださせるよう努めます。 子どもたちが自ら学習したいと思うような仕組みづくりに努めます。 途中の式や考え方・理由などを説明する場を設け、表現力を培います。				
定期テスト	出題方針	教科書の内容に準じて、基本的な数学力を問う問題を出題します。 また、応用問題の出題により、数学的な見方や考え方の習熟度を計ります。 ※単元が終わるごとの単元テストも実施します。[知識・技能]の領域の問題を中心に問題を出題します。 ※定期テストが終了後、任意でリベンジテストを実施します。[知識・技能]の領域の問題を中心に問題を出題します。			
	範 囲 (予定)	1学期中間テスト	式の計算、連立方程式		
		1学期期末テスト	連立方程式、一次関数		
		夏休み明けテスト	1学期分の範囲		
		2学期中間テスト	一次関数、図形の調べ方		
		2学期期末テスト	図形の調べ方、図形の性質と証明		
		冬休み明けテスト	1・2学期分の範囲		
		学年末テスト	図形の性質と証明、場合の数と確率、箱ひげ図とデータの活用		
評 価 方 法	・主体的に学習に取り組む態度		・授業の様子 ・自主学習ノートへの取り組み ・ワークの取り組み方 ・単元レポート ・補習(道場)や探究(ラボ)、リベンジテストへの参加 ・自由研究への取り組み ・見通しを持って授業に取り組む態度(見通しマップ)		
	・知識・技能		・定期テスト、単元テスト、リベンジテスト		
	・思考・判断・表現		・定期テスト、単元テスト、自由研究、見通しマップの表現 その他表現した成果物		

学 習 方 法 (先生からの アドバイス等	数学は積み上げの教科と言われます。(教科性)わからないままにして次の授業を迎えてしまうと、前回の知識や計算方法を使って新しい課題に取り組むため、またわからないが続いてしまいます。1回1回の授業を大切にして、わからない、できないを少なくする努力をしましょう。また、定着するまで、ある程度の量をおこなうことも大切です。教科書の問題や、ワークを中心に演習を繰り返しましょう。 導く答えは1つですが、導き方は様々です。数学を通して、仲間と協力し様々な考え方に触れ、豊かな人になってもらいたいです。個人で考えることももちろん大切ですが、自分の考えを共有(シェア)すること、仲間とともに答えを導くことを大切にしましょう。
-----------------------------	--

年 間 授 業 計 画 書					
学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4	1. 式の計算	・式の加法・減法	3	同類項をまとめる
			・いろいろな多項式	2	分配法則を用いてかっこを外す
			・単項式の乗法・除法	2	文字式の計算と同じように計算をする
			・文字式の利用	3	文字式を用いて説明できるようにする。 文字式の有用性を感じることができる。
	5	2. 連立方程式	・連立方程式とその解	2	二元一次方程式の解の意味を理解する。
			・連立方程式の解き方	5	加減法・代入法の解き方を理解する。
	6		・連立方程式の利用	4	連立方程式を利用して、いろいろな問題を解く。また解を吟味し問題にあっているかどうか確認する。

2	7	3. 一次関数	・一次関数 ・一次関数の値の変化 ・一次関数のグラフ ・一次関数の式を求めること ・方程式とグラフ ・連立方程式とグラフ ・一次関数の利用	2 2 4 3 2 1 4	表や式、グラフを通し一次関数の変化の様子を調べる。 一次関数の変化の割合を理解する。 一次関数のグラフについて考察する。 (傾きと切片)(傾きと1点)(2点)の3つ方法で式をもとめることができる。 一次関数と同様なグラフになることを理解する。 グラフ上の交点を連立方程式を使って求めることができる。 式やグラフを活用し、よりよい判断ができるようにする。
	9	4. 図形の調べ方 5. 図形の性質と証明	・角と平行線 ・多角形の角 ・三角形の合同 - 証明とそのしくみ ・証明と進め方 ・二等辺三角形 ・直角三角形の合同 ・平行四辺形の性質 ・平行四辺形になるための条件 ・いろいろな四角形 ・平行線と面積 ・四角形の性質の利用	3 4 3 2 2 5 2 2 3 2 2 1	同位角や錯角について理解できる。 多角形の内角の和について理解できる。 仮定から結論を導きだす証明を丁寧にまとめることができる。 平行線の性質や三角形の合同条件を用い証明していく。 着目するところに注意して証明を進める。 二等辺三角形の性質を理解する。 直角三角形の合同条件を理解する。 平行四辺形の性質を理解する。 平行四辺形になるための条件を理解する。 様々な四角形があり、それぞれの四角形を場合分けできるようにする。 形は違うが面積は同じ(等積変形)を有効に使えるようにする。 仮定の条件を変えたとどうなるのかを考える
	10				
	11				
	12				
	1				
	2				
	3				
	1	6. 場合の数と確率	・確率の求め方 ・いろいろな確率 ・確率の利用	2 4 1	場合の数をもとにして確率を求めることができる。 『同様に確からしい』という考え方を理解する 不確定な事象をとらえ、他者に説明し確率の意味や必要性を理解する。
	2	7. 箱ひげ図とデータの活用	・箱ひげ図 ・データを活用して、問	4 2	ばらつきに着目し、最適解を選ぶことができる。 1つの視点だけではなく、様々な視点か
	3				

			題を解決しよう		ら批判的に考察することができる。
--	--	--	---------	--	------------------